



シンポジウム

福岡空のモビリティ講演会

入場料・参加費

無料

第4回：未来の都市・社会の形

～テクノロジーの発展、産業界の動向、行政の対応、社会・市民の責任～

開催日時：2024/3/11(月)15:00-18:00

開催場所：アクロス円形ホール

有志による交流会
も開催します

第1部のみハイブリッド開催
(第2部は対面のみ)

プログラム

第1部：パーティポート・コリドー最前線 - 空クルマが未来の公共交通となるために必須となるパーティポートとコリドーの設置について技術、施策、社会の視点で考える

- ▶ 多交通機関との接続点としてのパーティポートの機能と設置に必要な技術(仮) - 岡田惇史 (Skyports)
- ▶ コリドー設置についての留意点(仮) - 虎谷大地 (ENRI)
- ▶ パーティポート、コリドー設置について都市計画、行政から考えるべき事(仮)
- 黒瀬武史 (九大)

第2部：パネルディスカッション - 空モビが、私たち・将来の世代にどのような影響があるのか？未来の社会がどうあるべきか？について議論する(総括、未来社会の倫理、心理、文化、環境など)

- モデレータ：小島立 (九大法学研究院教授)
- パネリスト：野口和彦 (JST)、伊藤貴紀 (元経産省)、藤田雄飛 (九大)、陳思聡 (九大)、小林史明 (明大)
- エキスパートコメンテータ：岡田惇史(Skyports)、虎谷大地(ENRI)、黒瀬武史(九大)

参加登録は
こちらから



登壇者プロフィール



岡田 惇史 (Skyports 株式会社 代表取締役)

日建設計にて都市デザイナーとして MENA、APAC、CIS26 都市における大規模都市開発に従事。その後ポストンコンサルティンググループにてテクノロジー・メディア・通信領域の企業改革をサポート。空と地上、人との、のモビリティネットワークを築くことを目指して、Skyports の日本法人を立ち上げ、パーティポートの開発・運営事業を進めている。



虎谷 大地 (電子航法研究所 (ENRI) 航空交通管理領域 主任研究員)

2016 年横浜国立大学博士課程後期修了。同年、(国研) 海上・港湾・航空技術安全研究所 (MPAT) 電子航法研究所 (ENRI) に入所。航空管制を対象に、最適制御の応用、数値シミュレーション、データ分析等の研究開発に従事。現在はドローンや空飛ぶクルマといった新たな航空機と従来の航空機が共存するための環境構築に関する研究にも従事。



黒瀬武史 (九州大学大学院人間環境学研究院 教授)

2004 年東京大学工学部都市工学科卒業、2006 年同大学院修士課程修了。株) 日建設計 都市デザイン室を経て、2010 年から東京大学大学院助教。2016 年から九州大学大学院人間環境学研究院准教授、2021 年から同教授。専門は都市デザイン・都市計画、そのなかでも工場跡地の再生、人口減少都市の再生、都心部の民有公共空間を近年の研究テーマとしている。



小島 立 (九州大学副理事、大学院法学研究院 教授)

専門は、知的財産法、文化政策、科学技術イノベーション政策。私たちが多様性と包摂性を兼ね備えた形で科学技術の成果や文化的表現を享受できるための制度設計について教育研究を推進中。最近は、出身地である福岡県直方市や筑豊地方の石炭産業遺産に関する研究も推進。2020 年から「空飛ぶクルマ」の ELSI プロジェクト (JST RInCA) に従事。



野口 和彦 (JST RISTEX EISI PJ アドバイサー、横浜国立大学客員教授)

専門は、科学術と人間の共生、リスクマネジメント、安全工学。1978 年東京大学航空学科卒、三菱総合研究所入社後 2005 年研究理事に就任。2014 年横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授、2015 年同校リスク共生社会創造センター長兼任。2020 年常勤退職後、学長特任補佐、客員教授に就任。その他、ISOTC262 日本代表委員、国内委員会委員長、日本学術会議連携会員等を歴任。



伊藤 貴紀 (株式会社かえで、元経済産業省次世代空モビリティ政策室室長補佐)

2014 年経済産業省入省。APEC、基準認証政策、ベンチャー企業出向を経て、2019 年から 2023 年までドローンや空飛ぶクルマの産業振興、事業環境整備等に従事。現在は、家業の保育園経営を担いつつ、次世代空モビリティの業界関係者のコミュニティ形成を支援している。



藤田 雄飛 (九州大学大学院人間環境学研究院 教授)

2004 年京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程単位取得退学。2006 年博士 (人間・環境学) 学位取得。日本学術振興会特別研究員 (PD)、パリ第 10 大学招聘研究員、大阪大学人間科学研究科助教を経て、2012 年に九州大学大学院人間環境学研究院准教授として着任。2021 年より現職。専門はメルロ＝ポンティおよびフーコーの思想をもとにした教育学研究。専門領域は教育哲学・教育人間学。



陳 思聡 (九州大学大学院人間環境学研究院 准教授)

博士 (人間科学)。専門はシティズンシップ教育、教育政治学。東北大学教育学研究科での助教・特任講師を経て、2018 年より現職。東アジアにおけるシティズンシップ教育の政策と実践を中心に研究している。著書に『The Meaning of Citizenship in Contemporary Chinese Society』(2018, Springer) がある。



小林 史明 (明治大学法学部 准教授)

博士 (法学)。専門は法哲学・法と文学。日本学術振興会特別研究員 PD 等を経て現職。主な著書に『法と文学』(勁草書房、2020 年、訳書に『法と感情の哲学』(共訳、勁草書房、2023 年) など。